

つなげる力を、明日のために。トークネットのコミュニケーションマガジン「ジョイント」

# Joint

vol. **23**  
2018 June



妙高高原／新潟県

未来への挑戦 [特集インタビュー]

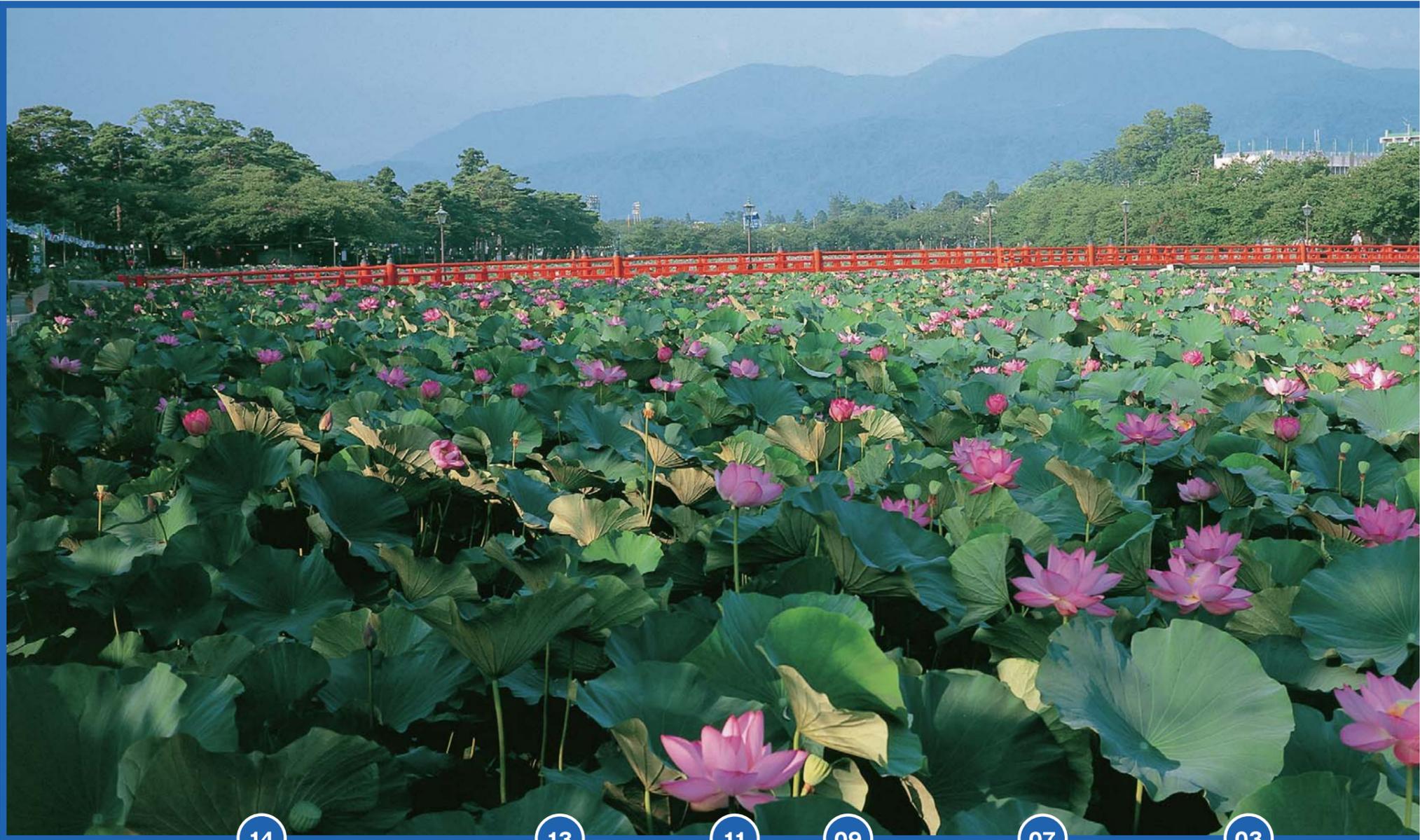
## 「技術をつなぐ」

織物屋から技術屋へ 多彩な産業分野へ広がる技術力  
株式会社有沢製作所様

技をつなぐ

明治から受け継ぐ技に工夫を重ね  
祭りや文化をつなぐ  
高松義雄太鼓店様

導入事例 [新たな価値をつくるビジネス]  
「標的型攻撃メール対応訓練サービス」と  
情報セキュリティ研修  
上越教育大学様



(右)新潟県上越市にある高田公園の外堀(19ヘクタール)を埋め尽くす蓮は、規模、美しさともに東洋一と称されます。毎年7月～8月の見頃の時期は「上越蓮まつり」を開催。  
 (左)毎年8月1日～4日に開催される「盛岡さんさ踊り」を支える太鼓職人。赤い三角模様がさんさ太鼓の特徴です。

03

未来への挑戦「特集インタビュー」  
**「技術をつなぐ」**

織物屋から技術屋へ  
 多彩な産業分野へ広がる技術力  
 株式会社有沢製作所様

07

**技をつなぐ**

明治から受け継ぐ技に工夫を重ね  
 祭りや文化をつなぐ  
 高松義雄太鼓店様

09

**地域ナビ**

知りたい、伝えたい！地元の魅力  
 青森編

11

**導入事例「新たな価値をつくるビジネス」**

「標的型攻撃メール対応訓練サービス」と  
 情報セキュリティ研修  
 上越教育大学様

13

**地域の旬情報 Joint's TOPICS**

東北の短い夏を華麗に彩る  
 「八戸三社大祭」が7月31日から開催

14

**「第9回クラウドコンピューティングEXPO春」に出展**

**「いわてICTフェア2018」に出展**

**読者プレゼント**

お客さま紹介  
 株式会社ツガワ様  
 (神奈川県横浜市)

# Joint

CONTENTS vol.23 2018 June

[表紙のイラスト]  
 標高2,454メートルの妙高山麓に広がる「妙高高原」。麓から高原山頂までは、妙高の自然を見下ろしながらスカイケーブルで空中散歩。標高1,300メートルの山頂からは野尻湖や斑尾山などを一望でき、ブナの原生林をたどるトレッキングも楽しめます。

「Joint」バックナンバーはHPでご覧いただけます。  
<http://www.tohknet.co.jp/joint/>





## 織物屋から技術屋へ

織り工程の工場。織維の分析、織りの構成設計、条件設定といった技術を駆使し、有沢製作所はさまざまな素材を織ることに挑戦してきました。

# 多彩な産業分野へ広がる技術力

1909年、バテンレースを製造する会社として創業した「有沢製作所」。その後、時代を見極め、「織る」技に「塗る」「形づくり」技術を織り交ぜながら、さまざまな分野の製品を開発し新たな事業を展開してきました。見えないところで人々の暮らしを支えている有沢製作所の、技術の変遷と挑戦の軌跡をたどります。

### 「技術をつなぐ」



株式会社有沢製作所 本社  
新潟県上越市南本町 1-5-5  
TEL.025-524-5121(代表) <http://www.arisawa.co.jp>

株式会社有沢製作所  
常務執行役員  
生産本部 本部長・管理本部 本部長  
取締役 **野波 英隆氏**  
(のなみ ひでたか)・中  
上席執行役員  
管理本部 副本部長  
部長 **増田 竹史氏**  
(ますだ たけし)・右  
執行役員  
管理本部 副本部長  
総務部 人事部 品質保証部担当

**松矢 英一氏**  
(まつや えいいち)・左



本社受付には、見事なバテンレースが飾られています。

## バテンレースの技術を工業製品へ応用

バテンレースとは、「ブレード」と呼ばれる幅約1センチの布製テープや細紐を、型紙の図柄に合わせて縫い付け、その間を糸でかがって模様を作る繊細な製品です。

有沢製作所は、バテンレースに欠かせない「ブレード」の生産を手掛ける工場として、1909年に創業。創業者の有沢富太郎氏は1910年、仲間とともに東洋ブレード合資会社を設立しました(1919年、日本ブレード株式会社に改組)。

しかし、第1次世界大戦、世界恐慌、関東大震災などにより、状態が激変。日本ブレードは1930年に倒産し、富太郎氏は債務・債権を肩代わりして、同年に個人経営の「有沢製作所」を創設しました。そして、綿細幅織物による絶縁テープ、フラスナーテープの生産を始めました。当時、重電用の大型発電機、大型モニターには電気絶縁材料が使用され、そのほとんどは輸入品だったことから、それを高田(現上越市)で製造しようとしたのです。

また、第2次世界大戦中は、

早い段階で電気絶縁用テープ、ゲートルやベルトなどの軍需用織物を生産の主力とすることで、工場の軍事産業転用を可能な限り阻止しました。

戦後、有沢製作所は1949年にガラス繊維テープの生産を開始します。ガラス繊維は不燃性・耐熱性・強度に優れ、アメリカでは絶縁用に使用されている、という情報をもとに生産を開始。試行錯誤を繰り返しながら、事業を軌道に乗せました。その後、1951年に勃発した朝鮮戦争によって、日本は好景気となります。

「好景気は数年続きました。1958年からの岩戸景気、1960年には当時の池田勇人首相による『所得倍増計画』で消費ブームとなり、1965年前後のいざなぎ景気。それらが重なり、当社も設備投資ができるようになり、工場設備を増強したようです」と、常務執行役員の野波英隆さん。

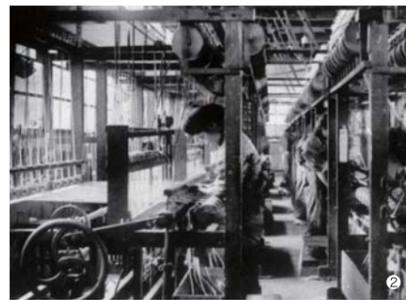
### 「織る」技術から「塗る」技術へ

有沢製作所が手掛けるガラス繊維織物は、絶縁用資材のほか、プラスチック製品の普及に伴い補強用の基材、グラスファ

輸入品だった、大型発電機や大型モニターの電気絶縁材料を、高田(現上越市)で製造することに挑戦。



①現在の本社・南本町工場。このほか、上越市内に工場2カ所(中中原工場、中中原西工場)と、技術開発センターがあります。



②バテンレースのブレードを生産していた、東洋ブレード時代(大正期)の工場。

③創業当時の有沢製作所(昭和8年)。

インタビューから考える  
つなぐ思い



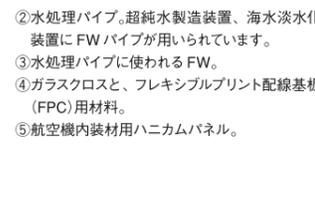
TOHknet 新潟支社 中畑 将央

時代とお客さまのニーズに  
即対応することの大切さを実感

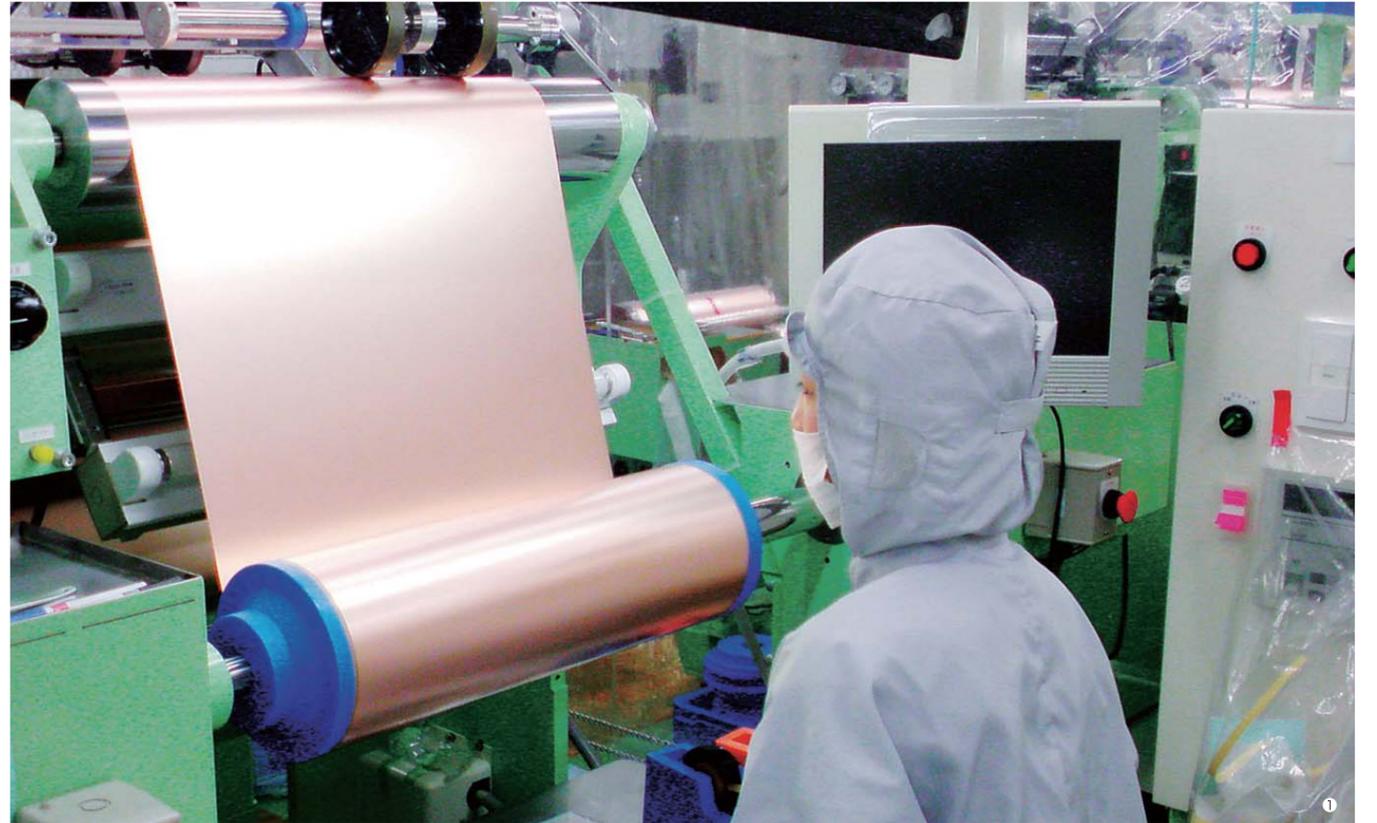
今回の取材を通じて、時代に合わせて技術開発を行い、お客さまのニーズに対応されてきたことが、有沢製作所様が創業から100年以上も続く理由なのだ実感しました。

私自身はこれまで通信回線の営業をしてきましたが、回線だけではお客さまに満足していただくのは難しいと感じており、必要に応じて回線以外のネットワークソリューションを取り入れたご提案をするようにしています。お客さまのご要望に応えながら成長してきたという、有沢製作所様のお話は大変勉強になりました。

私も取り組んでいることを諦めず、継続的に一歩一歩進んでいきたいと思っています。



②水処理パイプ。超純水製造装置、海水淡水化装置にFWパイプが用いられています。  
③水処理パイプに使われるFW。  
④ガラスクロスと、フレキシブルプリント配線基板(FPC)用材料。  
⑤航空機内装材用ハニカムパネル。



①フレキシブルプリント配線基板(FPC)用材料の製造風景。

時代のニーズをキャッチし、幅広い中間素材を製造。

イバースキーの芯材として急速に需要が拡大し、ガラス繊維を織った素材に樹脂を塗り、強度や絶縁性を持たせることで繊維強化プラスチック(FRP)や各種絶縁テープなど、幅広い中間素材を製造するようになります。

「1954年、アメリカのゼネラル・エレクトロニクス社からシリコン樹脂の技術供与を受けた電機メーカーに、二次加工をさせて欲しいと申し入れました。1カ月以内に加工機を作るという条件をクリアした後、研究室に機械を設置し、ガラスクロスにシリコン樹脂を塗布する研究が始まりました」

当時、重電各社は、海外から絶縁材となるさまざまな材料を輸入していました。有沢製作所は、国産化へ向けて、樹脂加工分野への進出を決断。時代のニーズに応えながら研究開発を進めていきました。

新たな可能性が広がる  
「形づくる」技術

「当社の技術は、織る・塗る・形づくるの3本柱がベースとなります。織る技術でガラス繊維を生産し、そこから樹脂を塗って染み込ませたFRPの製

造につながり、さらに成形技術へと発展させてきました」と野波常務。

織る技術で作られたガラスクロスやテープは、OA機器や自動車などの電気通信機器用、プリント配線基板用、電気機器などの電気絶縁用、スポーツ・アウトドア用品素材として幅広く使われています。樹脂加工品は、電子機器の小型化に寄与するフレキシブルプリント配線基板(FPC)用材料、自動車や航空機などの強靱・軽量化に採用されるカーボンクロスアプレグなどの各分野に提供されています。

さらに、織って塗工を施した樹脂加工品を成形する技術は、さまざまな用途に最適な新しいFRP材料を作ること可能になりました。例えば、熱と圧力を加えたプレス成形品は航空機や宇宙機器の内装用材料として提供されています。また、塗工を経ず直接熱硬化性樹脂と組み合わせ、ガラス繊維などをパイプ状に成形するファイラメントワインディング(FW)成形品は、超純水製造設備、海水淡化化設備の材料に利用。そして、微細形状を形づくる技術によって作られ

る、3D立体表示用レンヂャクターレンズやプロジェクト用大型反射スクリーンなどは、医療分野で欠かせないものとなっています。

野波常務は「FPC材料は、当社売上の約7割を占めています。通信の高速化・大容量化という5Gが控えており、FPC材料に求められることも大きく、現在はニーズに応じていくため研究開発に取り組んでいるところです」と話します。

創造・革新・挑戦で  
次の100年へ

「先見性があり、計画的に業

務を拡大してきたように見えますが、先輩方に聞くと「売上が落ちる度に、必死になって打開策を探り進んできた」と話します。当社の理念は「創造・革新・挑戦」ですが、特に「挑戦」とは、失敗を恐れずに何事もやってみるという社風があります。「昨日より今日、今日より明日」が社長の方針です。社員たちは現状に満足せず挑戦し続けています」と野波常務。

来年、創業110年を迎える有沢製作所。人々の暮らしを支えるその技術は、チャレンジ精神とともに、次の100年につながっています。

技をつなぐ



皮の縁の部分に開けた穴に、ベンチを使って細い皮を通して縫い上げます。

皮に穴を開けるための目打ち。使いやすいように刃の形など工夫を凝らしています。

下処理を施して乾燥させた牛の皮(右)。細く切って縫い上げに使用します。



胴の部分は、カシューと呼ばれる塗料で下塗り1回、上塗りを2回施して仕上げます。



修理に持ち込まれた太鼓。胴桶の内側には大正9年に作られたことが書かれており、修理を終えれば高松義雄太鼓店の名も記されることに。



高松孝治さん(右)と恭兵さん(左)



# 明治から受け継ぐ 技に工夫を重ね 祭りや文化をつなぐ

さんさ太鼓 各種太鼓製造・販売・修理 高松義雄太鼓店 岩手県盛岡市

## 音の響きを左右する 皮作りの確かな技

盛岡の夏祭りとして知られる盛岡さんさ踊り。祭りに欠かせないさんさ太鼓は、市内の3軒の太鼓店が手作りしています。高松義雄太鼓店は明治時代の末に創業し、

## お客さまが満足する 良質な太鼓を提供・修理

孝治さんは、別な仕事に就いており、先代を手伝う程度でしたが、30歳の時に本格的に太鼓を作るようになり、いいものを作ろうとやり始め、いいものを作ろうと

現在は4代目の高松孝治さんが暖簾を守っています。さんさ太鼓作りは、皮の加工と胴との組み合わせがメイン。胴の部分は桶職人が作ったものを仕入れていましたが手に入りにくくなり、今は建材などに使われる厚い紙製の筒も使用しています。太鼓の皮は牛の皮が原料で、県内の畜産処理加工会社から仕入れます。皮には脂肪や汚れが付いているため洗浄し、塩漬けにして防腐処理を行います。次に、水で戻した皮を薬剤に漬けて毛を取り除き、傷などないかチェックして型を取り、裏面を平らに削って厚みを調整します。厚さが均等になったら、柔らかいうちに鉄の枠に皮を張り丸く伸ばした後、細く切った皮で縫い合わせます。数日乾燥させ、しっかりと皮が乾いたら、塗料でさんさ太鼓特有の模様を付けます。最後に、皮と黒く塗った胴を組み合わせて紐でつないで、さんさ太鼓のできあがりです。このような工程はすべて手作業で行われますが、多い年には100個以上も作ってきたそうです。

## 響き渡る太鼓の音に合わせ華麗に舞う

### 盛岡さんさ踊り

藩政時代より受け継がれてきた「さんさ踊り」の起源は、三ツ石伝説に由来しているといわれます。その昔、盛岡城下に現れた鬼に困り果てた里人たちは、三ツ石神社に退治を祈願。神様は鬼を捕え、二度と悪さをしない証に、境内の大きな三ツ石に手形を押させました。鬼の退散を喜んだ里人たちが、三ツ石のまわりを「さんささん」と踊り、鬼が二度と来ないように太鼓の音を山に響かせたのが始まりだそうです。以来、毎年お盆になると盛岡と周辺地域でさんさが踊られるようになりました。その後、地域ごとに発展してきた踊りの振り付けを統一し、「盛岡さんさ踊り」として開催するのが昭和53年(1978)のこと。毎年8月1日から4日まで、盛岡市役所前の中央通をパレードします。最終日には、平成26年(2014)の「和太鼓同時演奏」世界記録達成を記念した「世界一の太鼓大パレード」と、誰でも参加できる「大輪踊り」が行われ、グランドフィナーレを飾ります。

- 【開催日時】2018年8月1日(水)~8月4日(土) 18:00~21:00
- 【開催場所】盛岡市中央通(岩手県庁前)約1km
- 【お問合せ】盛岡さんさ踊り実行委員会  
岩手県盛岡市清水町14-12(盛岡商工会議所内)  
TEL:019-624-5880 <http://www.sansaodori.jp/>

ため、技術を継承していくことが大切」と話す孝治さん。試行錯誤を重ね培ってきた太鼓作りの技が次の世代に受け継がれるとともに、地域の伝統文化を支えています。

さんさ太鼓は皮の赤い三角模様が特徴。この形は、三ツ石伝説の鬼が逃げ去った山の形といわれていますが、鱗模様や朝日と呼ぶ人もいます。子どもから大人まで使うため大きさは様々で、店でよく出るのは直径一尺六寸(約48cm)のもの。「自分で作った太鼓はひと目で分かる」と孝治さん。

画像提供:盛岡さんさ踊り実行委員会



高松義雄太鼓店  
岩手県盛岡市城西町10-11  
TEL・FAX.019-624-2087



## 六ヶ所村のお土産と奥入瀬渓流をご紹介します！

TOHKnet 青森支社  
安齋 康佑

2016年、関係会社からTOHKnet青森支社に出向。  
津軽地域の保守業務を担当。

六ヶ所村の特産品販売所「六旬館」が、この4月にオープンしました。地域の野菜や肉、水産加工品のほか、地元商店のお菓子やお弁当などいろいろ揃っています。飲食コーナーや交流スペースも設置されているので、ドライブの休憩などに利用できます。

六旬館の敷地に隣接して、六趣醸造工房があります。村特産の長芋を原料にした焼酎を作っており、工房見学（購入可）もできます。工房のほか、六旬館でも販売されている「六趣レギュラー」は、すっきりとした口当たりが特徴の長芋焼酎です。年に3回抽選で販売される「六趣スペシャル」は原酒を樽の中で長期間熟成させたもので、まるやかな口当たりを楽しめます。

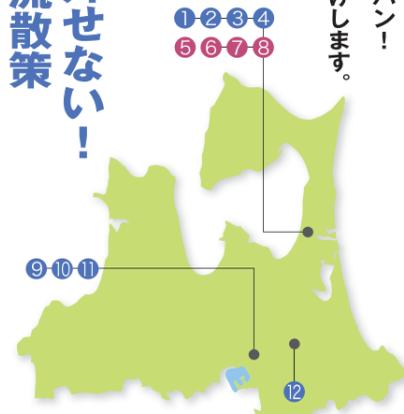


奥入瀬渓流散策や十和田湖巡りを楽しんだ後は、ご当地グルメの王道「十和田バラ焼き」を堪能。牛バラ肉とタマネギをしょう油ベースの甘辛いタレで炒めた一品です。バラ焼きで

町おこしをする団体のアンテナショップ「司バラ焼き大衆食堂」では、本場のタレも販売されています。

## やっぱり外せない！ 奥入瀬渓流散策

国指定の名勝、天然記念物に指定されている「奥入瀬渓流」は青森を代表する景勝地です。十和田湖の子ノ口から焼山まで約14キロメートルにわたり、変化に富んだ渓流が続きます。水の透明度が高く、珍しいコケ類が生い茂っているのが特徴。「阿修羅の流れ」は、観光ボスターなどによく登場します。



- ① 新緑の季節が美しい「奥入瀬渓流・阿修羅の流れ」。
- ② 奥入瀬渓流館と人気の「奥入瀬こけソフト」。
- ③ 「十和田湖遊覧船」で十和田の自然を満喫。
- ④ 司バラ焼き大衆食堂の「十和田バラ焼き」。

「十和田湖国立公園協会」  
TEL.0176-75-2425  
十和田市奥瀬十和田湖畔休屋  
486

「奥入瀬渓流館」  
TEL.0176-74-1233  
十和田市大字奥瀬字新久保 183  
9:00~16:30

「十和田湖遊覧船」  
TEL.0176-75-2201  
(十和田観光電鉄)  
十和田市奥瀬十和田湖畔休屋  
8:00~17:00

「司バラ焼き大衆食堂」  
TEL.080-6059-8015  
十和田市福生町 15-41  
※月曜定休  
(休日の場合は火曜)

地元のコトは地元の人に聞くのがイチバン！  
東北&新潟の魅力を社員の目線でお届けします。  
今回ナビゲートするのは  
青森支社の阿部友和と安齋康佑。  
おすすめの地元ネタとは？

## vol.23 青森編

# 知りたい、伝えたい！ 地元の魅力

「地域ナビ」

1922年に創業した遠田秋月堂の「ごま六」は、青森米・つがるロマン100%の杵つ



- ① 「六旬館」外観。
- ② 六趣醸造工房の「六趣レギュラー」。
- ③ 遠田秋月堂の「ごま六」。
- ④ 日本有数の野鳥の生息地「鷹架野鳥の里森林公園」。

「六旬館」  
TEL.0175-71-3115  
上北郡六ヶ所村大字鷹架字道ノ下 561-6  
9:00~18:00

「六趣醸造工房」  
TEL.0175-71-3335  
上北郡六ヶ所村鷹架内子内 337-3  
10:00~15:00(工房見学) ※月曜定休

「遠田秋月堂」  
TEL.0175-77-2321  
上北郡六ヶ所村泊字村ノ内 90  
8:00~19:00 ※日曜定休

「鷹架野鳥の里森林公園」  
上北郡六ヶ所村大字鷹架字道ノ上 66-10

TOHKnet 青森支社  
阿部 友和

2009年入社、青森支社勤務2年目。  
青森市内のほか、三沢市、八戸市、六ヶ所村、むつ市などを担当。



## 六ヶ所村でオススメの美味しいお土産

き餅。練りごまとすりごまを混ぜた自家製あんは、甘さ控えめで男性からも好評です。外側にも黒ごまがたっぷりまぶしてあり、ごま好きの方におすすめの一品。

バードウォッチングの穴場として知られる「鷹架（たかほこ）野鳥の里森林公園」は、鷹架沼の美しい景色を眺めながら野鳥観察を楽しめる、リフレックススポットです。



こちらもおすすめ

## ★スパハウス ろっかぽっか

「六趣醸造工房」と同じ敷地に、立ち寄り湯を楽しめるスパポットがあります。

「スパハウス ろっかぽっか」は、大きな窓から自然を眺めながら温泉を堪能できる大浴場のほか、露天風呂や男女日替わりで利用できる全10種類の多目的風呂を楽しめます。

お風呂上がりは大広間の無料休憩所でゆっくりとくつろげ、マッサージなどのリラクゼーション施設も備えています。

また、館内にはメニューが充実したレストランや居酒屋も設置。料理長おすすめの「本まぐろ入り海鮮丼」、海老や烏賊、穴子、長芋のほか、野菜やきのこ類の天ぶらが高く盛られた、ろっかぽっか名物「びっくり仰天井」は、ぜひ味わってほしい一品です。中華や洋食のメニューも豊富で、お子さまプレートもあるので、家族揃って楽しめます。



⑥ 大浴場。



⑤ 露天風呂。



⑥ レストランForest。



⑦ 「びっくり仰天井」。

## 青森支社のメンバー

お客さま本位を  
モットーにしています



青森支社 支社長  
山上 秀夫

青森県は超高齢化時代を見据え、地域で生まれ育ち、安心して生活できる地域共生型社会の実現を目指しています。当社も通信サービスの提供を通して、地域社会の未来に貢献していきたいと考えております。



# 「標的型攻撃メール対応訓練サービス」と情報セキュリティ研修

上越教育大学様

課題

教職員と学生の情報セキュリティに関する危機管理意識を向上させたい。



学術情報課学術情報チーム  
主査(情報企画担当)  
**木村 康司様**  
(きむら やすし)



標的型攻撃メール対応訓練後に開催した情報セキュリティ研修会の様子。



大学内のサーバー室。

上越教育大学では、2016年(平成28年度)「情報セキュリティ対策基本計画」を作り、インシデント発生時の対応チームを立ち上げ、リスク評価や規定の整備などを行いました。その一環として、2017年(平成29年度)に標的型攻撃メール対応訓練も実施しました。TOHKnetのサービスを採用した大きなポイントは、訓練後の研修会やセキュリティ研修をセットで行う点です。限られた予算の中で、柔軟に対応いただき助かりました。

また、本学はグーグルのメールサービスを使っているのですが、訓練を実施する環境として問題はないかの確認もしてくれました。訓練は教職員と学生を対象に行いました。研修会に参加したのは全体の約20%でしたが、訓練メ

ールから研修まで実施したこと、情報セキュリティの概要や考えられるリスク、実際に発生した事件や事故の事例などについて話を聞くことができ、セキュリティ対策の重要性を認識させることができましたと思います。今回の訓練で明らかになったのは、教職員に比べて、学生は自分に直接関係のないメールは見ない人が多かったことです。次回は、授業の一環として研修会を実施する方向で検討しています。また、訓練メ

ールから研修までの期間も、あまり長くない方が効果があるように思います。

今後、ネットワーク環境の変更を予定しているため、より充実したセキュリティやICT教育などの提案を期待しています。

訓練メールと研修会によるフォローアップで現状認識と意識改革に効果

Introduce \* 上越教育大学



上越教育大学  
新潟県上越市山屋敷町1  
TEL.025-522-2411 http://www.juen.ac.jp

未来をつくる、志をはぐくむ

上越教育大学は、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として1978年に設置された大学で、大学院は、学校教育研究科として、修士課程と専門職学位課程(教職大学院)を、また学部は、学校教育学部を持ち、創立以来、高い実践的指導力を持つ学校教員の養成、現職教員の再教育、教育に関する多様で高度な研究などを使命とする本学の社会的責務を果たすべく、取組みを進めています。

近年は、情報化の急速な進展が予想される学校現場で、その最前線に立つて児童生徒の情報活用能力を育成できる教員の養成を目指し、学内の情報環境の整備・維持管理に取り組むとともに、情報セキュリティ教育やプログラミング教育にも力を入れています。



プログラミングイベントの様子。

※本文中に記載の組織名・所属・役職・サービス名などはすべて2018年3月時点のものです。



提案

「標的型攻撃メール対応訓練サービス」のフォローアップとして、情報セキュリティ研修会を実施しました。

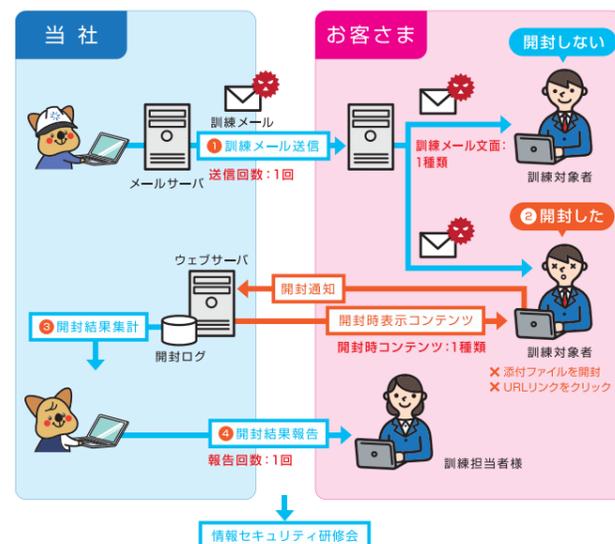


担当者/TOHKnet  
新潟支社  
**中畑 将央**

「標的型攻撃メール対応訓練サービス」の提供を開始し、上越教育大学様にもご案内をいたしました。その後も、ご質問などいただいた際には、ご要望を伺いながら提案させていただきます。

近年、標的型攻撃メールは増加しており、それに伴う情報流出の被害も増えているようです。メールの内容も巧妙に作成され、気づかぬうちに情報が盗み取られている場合もあります。上越教育大学様でも情報セキュリティの強化に向けて取り組まれ、昨年「標的型攻撃メール対応訓練サービス」についてご検討いただきました。訓練後の研修会も併せてご採用いただきました。当社は、標的型攻撃メール対応訓練サービスと研修会を組み合わせてご利用いただくのは初めてのことで、何度も打合せを重ねてから実施させていただきました。

## 事件や事故を未然に防ぐための教育型サービス「標的型攻撃メール対応訓練サービス」



提案のPOINT

情報セキュリティ研修会の組み合わせでより効果的

標的型攻撃メールに対する確かな知識と判断能力が身に付く

セキュリティインシデントのリスクを最小限にとどめることが可能になる

※東北インフォメーション・システムズ (TOINX) との協業により提供しています。

2018 Japan IT Week 春 **ビッグサイト**

# 第9回 クラウド コンピューティング EXPO 春に出展

5月9日(水)~11日(金)の3日間、東京ビッグサイトで  
行われた「第9回クラウド コンピューティング EXPO  
【春】」に当社が出展しました。本展示会は、クラウドに関連  
する製品・サービスを紹介する1,700社が出展しました。

当社は、仙台中央データセンターや標的型攻撃メール  
対応訓練サービスを中心に、「トークネットのソリューション」  
を紹介しました。期間中は、企業の情報系の担当の方々  
などが多数来場し、活発に商談が行われました。



当社展示ブースの様子

# いわてICTフェア 2018に出展

5月25日(金)、「いわてICTフェア2018」が盛岡市の  
いわて県民情報交流センター(アイーナ)で開催され、  
当社も出展しました。本フェアは、「ICTで つながる ひろ  
がる 明るい社会」をテーマに、実際に見て、触って、体験  
できるよう最新のICT製品が展示されたほか、IoTを活用  
した事例などを紹介するセミナーが開催されました。

当社展示ブースでは、VistaFinder Mx、レンタル  
サーバーサービスなどの当社サービスやお客さまの導  
入事例を紹介しました。若手県内外から多くの方が来場  
し、最新のICTソリューションを見学していました。



当社展示ブースの様子

## 読者プレゼント

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございました。vol.23は新潟県の有沢製作所様、岩手県の高松義雄太鼓店様などを特集しました。  
今後も皆さまのご意見を参考に、よりよい誌面づくりを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。

**A** **3名さま**

朝日酒造の ※応募は20歳以上の方に限りです。  
**久保田 純米大吟醸**

「新しい美味しさ」の日本酒(720ml×1本)

**B** **3名さま**

上北農産加工の  
**焼肉のたれセット**

スタミナ源たれ300g、塩梅のたれ270g、辛味家300g、  
ゴールド中辛300g、バラ焼きのたれ310g×各1本

**C** **3名さま**

横浜中華街 皇朝の  
**世界チャンピオンの肉まん**

肉団子のようなあんが特徴の肉まん  
(1個:直径約5cm×15個)

締め切り/2018年8月31日(金)

応募  
方法

下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、  
アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohknet.co.jp/joint/>



当選発表/厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。  
※プレゼント賞品は内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※応募に際していただきました  
個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的にのみ使用いたします。

編集  
後記

各分野で活躍している方々に取材していると、穏やかな中に、力強さを感じます。何かを成し遂げ、今後につなげようと頑張っている方々の  
エネルギーな魅力に元気をいただき、いつもわが身を反省しつつ、お話の機会をいただいたことに感謝しています。

# 東北の短い夏を華麗に彩る 「八戸三社大祭」が7月31日から開催されます



写真は虎舞。頭をかまれば、無病息災・頭脳明晰に  
なるといわれています。

## 八戸三社大祭

●期間/2018年7月31日(火)~8月4日(土)  
●場所/八戸市庁前や中心街など市内各所

7月31日(火)【前夜祭】  
(山車の展示とお囃子実演)  
●時間/18:00~21:00 ●場所/市庁前・八戸中心街

8月1日(水)【お通り】  
(神輿と山車の合同運行)  
●時間/15:00~19:00 ●場所/市庁前(出発)

8月2日(木)【中目】  
(加賀美流騎馬打越)  
●時間/14:00~16:00 ●場所/長者山新羅神社  
(山車合同運行)  
●時間/18:00~21:00 ●場所/市庁前(出発)

8月3日(金)【お還り】  
(神輿と山車の合同運行)  
●時間/15:00~19:00 ●場所/鍛冶町(出発)

8月4日(土)【後夜祭】  
(山車の展示とお囃子実演)  
●時間/18:00~20:00 ●場所/市庁前・八戸中心街  
※期間中は様々な行事が行われます。開催時間や運行場所などの  
詳細はホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。

■八戸三社大祭に関するお問合せ

八戸市観光課

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号(市庁別館6階)

TEL.0178-46-4040

<https://hachinohe-kanko.com/10stories/hachinohe-sannshataisai>

■有料観覧席についてのお問合せ

(公社)八戸観光コンベンション協会

〒031-0075 青森県八戸市内丸一丁目1番2号

(八戸圏域水道企業団・内丸庁舎2階)

TEL.0178-41-1661

地域の旬情報  
**JoinT's TOPICS**  
地域のニュース&トピックスなどの  
情報をお届けします。

## 藩政時代より受け継がれる 絢爛豪華な山車絵巻

八戸三社大祭は神事に由来する祭りであり、毎年7  
月31日から8月4日に開催され、約300年の歴史  
を誇ります。享保5年(1720)、法皇大明神現  
在の龍神社に天候回復と豊作を祈願したとこ  
ろ、無事に秋の収穫を迎えることができたことか  
ら、藩から許可を得て神輿を建造。翌年、龍神社  
が神輿行列を仕立て、長者山三  
社堂(現在の新羅神社)に  
渡御したことが始まりと  
いわれています。

その後、人形を載せ  
た屋台や虎舞など、町  
民で編成した行列が  
参加するようにな  
り、地域の安泰や豊  
作を祈願する大規模  
な祭りに発展。明治  
時代には新羅神社と神  
明宮の行列も加わり、毎  
年新しく作った山車を運  
行するようになりました。  
民話や歌舞伎などを題材  
に製作された27台の山車は、  
巨大で凝った仕掛けを施したのもあり、祭りの  
一番の見どころとなっています。また、行列には  
神楽や稚児、甲冑武者、笹の葉踊り、華屋台など  
も加わり、壮大な時代絵巻が繰り広げられます。

八戸三社大祭は、国の重要無形民  
俗文化財に指定されているほか、  
2016年12月にユネスコ無形文化  
遺産「山・鉾・屋台行事」に登録され  
ました。ライトアップされた山車が競  
演する夜の運行では、昼とは違う雰  
囲気をお楽しみいただけます。



TOHKnetのサービスをご利用いただいている  
ユーザー企業さまをご紹介します。

お客さま  
紹介

## モノづくりのトータル・ソリューションで 幅広い業種のニーズに対応 株式会社ツガワ様



本社外観

昭和28年(1953)に神奈川県  
川崎市で板金加工業として創業した  
株式会社ツガワは、半世紀以上にわ  
たり、「こだわりのモノづくり」の  
DNAを受け継ぎながら、お客さま  
の多様なニーズに応え、新たなモノ  
づくりの仕組みを構築してきました。  
現在は、自社で板金・塗装ができ  
るというメリットを活かし、製品の  
開発・設計から板金加工・金型・塗装・  
組立・物流までの一貫生産を実現し  
ています。

取り扱う製品は交通、環境、社会  
インフラ、医療、半導体、エンター  
テインメントなどのさまざまな分野  
の機械製品を岩手県内を中心に製造  
しています。また、近年多くのパー  
トナー企業とともに関東、関西圏で  
のモノづくりも始めました。

社会構造の変化により、モノづく  
りのニーズは多様化しています。新  
エネルギー、医療、福祉、健康、安全  
食などさまざまな分野で、ツガワな  
らではの技術力を提供いたします。

株式会社 ツガワ 神奈川県横浜市港北区新羽町1181番地 TEL.045-542-3323(代表) <http://www.tsugawa.com/>

# IT INFORMATION

～IT分野の旬な情報をお届けします～

**お悩み、抱えていませんか？ TOHKnetにおまかせください！**

情報漏えいの  
リスクを減らしたい

通信環境を  
見直したい

移動時間や出張コスト  
を削減したい

## クラウドやモバイルなどの活用で 労働生産性が向上しています

1人あたりの労働生産性は、導入企業の方が未導入の企業よりも・・・

テレワーク

**1.6倍**

無線システム・ツール

**1.2倍**

クラウドサービス

**1.3倍**

※出典：「平成28年通信利用動向調査」(2017年6月 総務省)

TOHKnetは、下記サービスの無料トライアルをご提供いたします。  
無料トライアルにお申し込みいただいた方の中から抽選で10名さまに  
「Bluetoothキーボード (折り畳み式)」が当たるキャンペーンを実施中。

**この機会に TOHKnet のサービスを是非お試しください！**

無料  
トライアル

V-LAN モバイルプラス

高セキュアなリモートアクセスを利用したモバイルなどの活用で、移動や残業時間が軽減できます。

※V-LAN(高速イーサネット網サービス)もしくはおトークオフィス・ワンのご契約が必要です。



無料  
トライアル

TOHKnet ServeMall  
ファイル共有サービス

データ化した資料や、PC上で作成したファイルを高セキュアなクラウド環境で一括管理。ファイルの受け渡しや管理の手間を省き、安全にファイル共有できます。



**さらに！半額キャンペーン**

お客さまのメールアドレスに疑似攻撃メールを送信し、被害にあわないポイントを学ぶ『標的型攻撃メール対応訓練サービス』のお試し半額キャンペーンも実施中。

キャンペーンの  
詳細はこちら！

東北電力グループサイト

[www.tohoku-epco.co.jp/group/jt23](http://www.tohoku-epco.co.jp/group/jt23)



PC

「トークネットジョイント」で検索

トークネットジョイント

検索



モバイル



トークネット  
**TOHKnet**  
つなげる力を、明日のために。

【お問合せ】 TEL:022-799-4211 (受付時間/平日 9:00～17:00) e-mail: joint@tohknet.co.jp